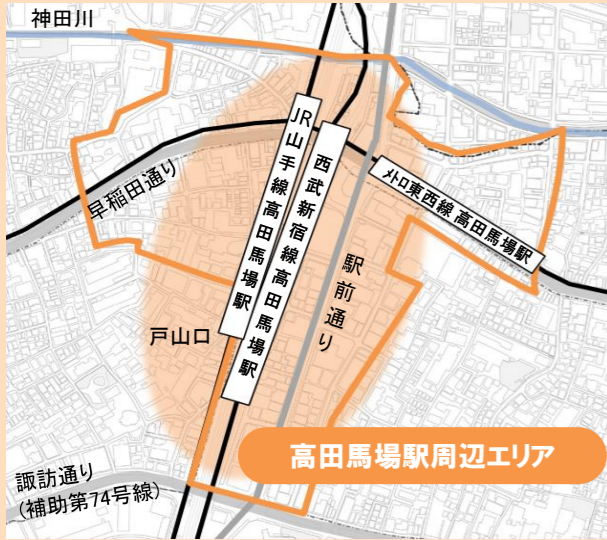


高田馬場  
駅周辺

高田馬場駅周辺の地域課題やまちの将来像を区民・事業者・行政等が共有し、  
連携して広域的なまちづくりを進めるため、  
「高田馬場駅周辺エリアまちづくり方針」を策定しました



平成30年12月、駅東側の地元住民等により「高田馬場駅周辺地区まちづくり構想案」がとりまとめられました。駅周辺の地域課題を解決するため、令和2年より、さらに駅の西側、北側を含めた広域的なまちづくりについて検討してきました。

学識経験者や鉄道事業者等による「高田馬場駅周辺エリアまちづくり検討委員会」や地元組織代表者等による「高田馬場駅周辺エリアまちづくり協議会」との連携により、基盤整備の方向性とまちの将来像を取りまとめ、令和4年7月に「高田馬場駅周辺エリアまちづくり方針」を策定しました。

今後は、まちづくり方針の実現に向けた検討、意見交換等を行うため、これまでの検討組織を改組し、引き続き、高田馬場駅周辺エリアのまちづくりを進めていきます。

まちづくりの基本方針

まちづくりコンセプト実現のための基本方針を、以下の10の分類ごとに整理します。

**土地利用**

3路線が結節するターミナルにふさわしい、活力と賑わいがあふれる駅まち空間の形成を図ります。

**駅東側ゾーン**

- 共同化・高度利用等による、都市機能の集積と駅前拠点の形成
- 歩行者中心の広場空間の形成と交通広場空間の形成

**駅西側ゾーン**

- 共同化・高度利用等による、都市機能の集積と駅前拠点の形成及び個別建替えによる、細街路の改善や都市機能の更新

**駅北側ゾーン**

- 共同化または個別建替えによる、細街路の改善や都市機能の更新

まちづくりコンセプト

誰もが 自分の歩幅で成長できる

“高田馬場”

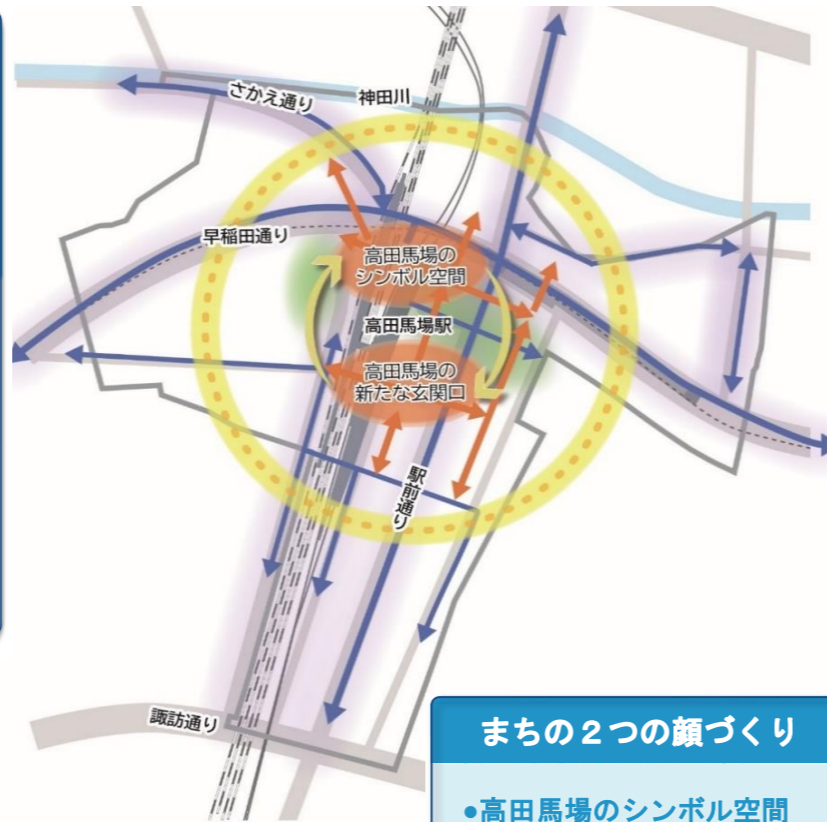
～バラエティあふれる魅力が  
混ざり合い パワーとなるまち～

- 誰もが気軽にチャレンジでき、成長できるまちの形成
- 駅・まちをユニバーサルデザインでつなぎ、様々な人々が出会い、交流しやすい駅まち空間の形成
- 安全・安心で快適なまちの形成

凡例

- 駅まち空間
- 新たに整備する歩行者ネットワーク
- ⇄ 既存の歩行者ネットワーク
- 広場の空間
- 賑わい空間

まちの将来像イメージ



まちの2つの顔づくり

- 高田馬場のシンボル空間 (歩行者広場付近)
- 高田馬場の新たな玄関口 (交通広場付近)

**都市機能**

- ダイバーシティのまちにふさわしい都市機能の誘導
- 沿道空間と一体となった賑わい・生活サービス機能の誘導

**街並み**

- 駅前の顔づくり
- 賑わいとユニバーサルデザインが両立した空間づくり
- ストリートの特性を活かした街並み形成

**防災**

- 駅まち空間における防災機能の強化
- 駅周辺の防災対応力の向上

**環境・みどり**

- 神田川と戸山公園をつなぐ道路沿いの緑化の充実
- 多層のみどりの創出
- 「ゼロカーボンシティ」実現に向けた取組みの推進

**駅前広場**

- 駅前広場の拡充・機能分担、交通結節拠点の形成
- 高田馬場のシンボルとなる歩行者広場の整備
- 高田馬場の新たな玄関口となる交通広場等の整備

**歩行者ネットワーク**

- ユニバーサルデザインに配慮した歩行者ネットワークの形成
- ゆとりある歩行空間の形成

**自動車ネットワーク**

- 補助第72号線(駅前通り)の機能強化
- 駅周辺の道路環境の改善
- 将来の交通環境の変化を踏まえた道路空間の活用検討

**駐車/駐輪場・荷さばき施設**

- 大規模開発等に連動した駐車場・駐輪場整備
- 地域の交通課題に対応する路上荷さばきスペース等の整備検討

**まちを育てる仕組み**

- 多様な主体の連携・協働によるまちづくりの推進
- 駅まち空間を中心としたエリアマネジメントの推進